

12 日本における家政学の体系

大妻女子大学 前川 当子

今日においてさえ、家政学無用論、あるいは、家政学の混沌を論ずる向がある。それは、この学の体系、原論というような研究が未だ少なく、経験的、具体的な衣食住の問題に研究が量的にも集中されている結果、家政学全体の状態、構造というような問題が取残される傾向にあるのも、その一原因ではなかろうか。私はさきに、家政学について 2, 3 の仮説を報告してあるが、今回は今迄の研究の過程を考察しながら、日本における家政学の体系という研究題名をもって、家政学の System について Approach しようとするものである。家政学を学としての認識を高めるために論理をすすめることも蛇足ではないと考えられるからである。今日の諸家の体系論

にも論及し、さらに、米国の Pennsylvania State University の text などとも検討し、連続的な歩みにそって、発展した事実の総和に対する関係において、私としての一試論を提出する次第である。